



子どもも大人も みんな大はしゃぎ

わくわく広場のぼりべつ2012

7/
21-22

7月21日(土)・22日(日)、登別ビーチパーク(登別マリンドーム前庭)で『わくわく広場のぼりべつ2012』とToittoi(きつとうまくいくさ) (同実行委員会主催)が行われ、訪れた多くの人でにぎわいました。露店やステージイベントにとどまらず、さまざまなイベントを楽しめるのが『わくわく広場のぼりべつ』。今年、『もつと子どもが楽しめる』というコンセプトの通り、子どもを楽しませるコーナーが充実。登別温泉の源泉を流す温水すべり台『SPA!スライダー』やゲームが楽しめる『こどもあそびひろば』では、楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿が見られました。また、今年初開催の『男の夏服コンテスト』では、自称イケメンの個性豊かな男性たちが、賞品を懸けてあの手この手で猛アピール。会場は笑いに包まれました。



▲広州市の紹介をする林善花さん(左上)と耳を傾ける参加者

食は広州にあり 多彩な飲茶にうつっとり

国際理解講座

7月24日(火)、市民会館で今年度第1回目の国際理解講座(市主催)が行われ、市が中国広州市(友好交流促進都市)から受け入れている協力交流研修員、林善花さんが広州市について話しました。

冒頭で林さんは「広州の夏は30℃以上ありますが、登別の夏は快適で気に入っています」と話し、会場を和やかな雰囲気にした後は、広州市では朝食にお店で飲茶を楽しむ習慣があることや、工業地区には、日本の自動車メーカーや石油会社、総合商社など多数の企業が進出していることなどを紹介。参加者は大きくうなずき理解を深めていました。

7/
24